

集約化・提案型森林施業 かわら版

「地域実践研修(Ⅰ)」各ブロックで開催中!

全国7ブロックの12のモデル組合を先生役として全国提案型施業定着化促進部会講師等がサポートしつつ、地域の実情に沿った提案型集約化施業を推進するための研修が行われています。

東北ブロックAの釜石地方森林組合での研修を皮切りに、これまで7つのモデル組合において、すでに終了しており、益明けから5つのモデル組合で実施することとなっています。

今回の参加事業体数は219事業体で、研修受講者は258名となっており、昨年の200名と比較して3割増となっています。

また、昨年の当該研修にはなかった施業提案に必要な工程別単価算出等の演習や地域の実情等を踏まえたカリキュラムの構成を行うなどして研修の理解度も高まっています。

研修生の皆さんには、地域実践研修(Ⅱ)までに、自分で考えて実際に施業提案書を作成し、提案を行ってみることが宿題となっています。早速、実践されることを期待しています。

東北ブロックBの研修は、雄勝広域森林組合において、秋田県、山形県内の16森林組合から38名が参加して実施されました。

地域の身近なモデル組合のこれまでの取組について講義を受け、実際にモデル組合版提案書の作成、全国部会講師(坪野氏)の工程別単価の設定手順の演習等を行いました。

研修最終日は、提案型施業の実施に向けて研修生の抱える課題ごとにグループ分けし、課題の整理と解決策についてグループ・ワークショップにおいて検討し、取りまとめて発表することで、それぞれが抱える課題・解決策等についてお互いが共通認識をもって研修を終えることができました。

○地域実践研修(Ⅰ)参加事業体数等

ブロック名	モデル組合	開催時期	参加事業体数	受講者数
北海道	上川北部	8/27-29	19	19
東北A	釜石地方	7/2-4	18	20
東北B	雄勝広域	7/16-18	16	38
関東	多野東部	8/25-27	23	23
中部A	羽咋	8/20-22	20	20
中部B	天竜	8/4-6	20	20
近畿	松阪飯南	7/15-17	33	33
中国・四国A	三次地方	7/30-8/1	17	20
中国・四国B	いしづち	7/30-8/1	9	16
中国・四国B	香美	9/3-5	19	19
九州A	上球磨	8/19-21	12	12
九州B	南那珂	8/5-7	13	20
計		7/2-9/5	219	258

一日目の様子



“研修目的の確認”



モデル組合の取組みについて



単価設定のアプローチについて

二日目の様子



プロット調査



モデル組合版提案書の作成



自組合の単価を算出し、発表

三日目の様子



グループ・ワークショップ“課題、解決策を取りまとめ、発表”



閉講式:テーマソングを合唱

いよいよ9月よりステップアップ研修が始まります！

森林施業プランナー育成研修(基礎コース、地域実践研修)を受講した林業事業者が、次のステップの研修を受け森林施業プランナーとしてのスキルアップを行うとともに、提案型集約化施業の実践に欠かせない、経理担当、現場担当、経営者(オブザーバー参加)が一体となって進めることの必要性をお互いに理解することにより、この取組の着実な推進を図ることを目的として、京都府の日吉町森林組合において、3泊4日の行程(プランナー以外は2泊3日)で、23年度まで実施することとしています。

平成20年度は、43の森林組合から110名が参加し、3回に分けて実施します。

第1回目：9月 8日(月)～11日(木)
第2回目：10月 7日(火)～10日(金)
第3回目：10月27日(月)～30日(金)

○平成20年度ステップアップ研修参加予定者数

ブロック名	プランナー	経理担当	現場担当	経営者	計
北海道	3	1	1	2	7
東北A	2		1	2	5
東北B	3	2	3	1	9
関東	1		1		2
中部A	7	6	3	4	20
中部B	3	2		1	6
近畿	8	4	7	5	24
中国・四国A	6	3	4	2	15
中国・四国B	3	1	1	3	8
九州A	1		1		2
九州B	6	1	2	3	12
合計	43	20	24	23	110

注：プランナー数＝研修参加組合数

平成19年度森林施業プランナー研修終了森林組合等の取組み状況

平成19年度の地域実践研修が終了し半年程過ぎたところで、当該研修を受講した約150の森林組合等に対して、現在の提案型施業への取組状況について、アンケート調査を実施しました。

このうち、134森林組合等から回答(回答率：87%)があり、この中の約7割の森林組合等が既に施業提案を実施していると心強い回答がありました。

残りの2割については、提案型施業に向けて、単価設定等の検討をしているところであり、森林所有者との信頼関係を築いて行く上で、適正な単価の設定が重要となることから、モデル組合等のサポートを受けながら、施業の提案が出来るよう取組の強化を期待します。

提案型集約化施業への取組状況(アンケート結果)

項目	森林組合等数	うち1団地10名以上の集約化を実施する森林組合等数
①施業提案後、間伐等を実行し、完了報告した現場がある。	62	32
②施業提案後、施業を実施中である。	21	11
③施業提案し、取りまとめをしているところ。	11	5
④提案型施業実施に向けて、単価設定等の検討をしているところ。	27	
⑤森林組合等内で、実施するか否か検討しているところ。	9	48組合等(36%)
⑥研修以降、まだアクションを起こしていない。	4	

注：①～④については複数回答あり、番号が若い方を優先しカウント。

「森林組合トップセミナー FRONT80事業完了発表会」(2008年7月28日～29日：東京都内)

現在、全国の森林組合では「提案型集約化施業」をはじめ、各種事業・組織改革に取り組まれているが、本格的に改革を進めるには組合長をはじめとする経営層のリーダーシップ発揮が必要となります。

そこで、組合長を対象とし、ドイツ元森林官リーガー氏による「ドイツの森林・林業」の講演等の森林組合トップセミナーを農林中央金庫主催で開催しました。

また、FRONT80(公益信託 農林中金80周年森林再生基金)の平成19年度助成事業が完了したことを受けて、事業完了発表会を開催しました。平成19年度助成先(5森林組合)から先進的な施業の取組み等、事業成果について発表いただきました。

当日は、森林組合系統の方々を中心に約180名が参加し活発な意見交換がなされました。今後は、森林組合系統の更なる改革が期待されます。



ドイツ元森林官のリーガー氏を囲んでの
パネルディスカッションの風景

今回のニュースレターの発行は9月下旬を予定しています。

<http://www.rinya.maff.go.jp/seisaku/sesakusyukai/syuyakuka/newsletter.html>

企画・発行：林野庁林政部経営課 提案型施業推進事務局 TEL:03-3501-3810/Fax:03-3502-1649